



小売り
(株)むらかみ
よういちろう
村上陽一郎さん



NPO
NPO法人西条
まちづくり応援団
せいこ
戸田聖子さん



地域に明かりを灯す活動を

飲食店の休業などで、売り上げが減り、4月・5月はとてもきつかったですね。でも普段と変わらず、できる仕事をきちんとやろうと心掛けました。少しずつですが、経営状態も回復しています。

昨年から始めた夏祭り「ふりむけば壬生川」の委員長を務めています。イベント中止が相次ぐ中で、今年開催するかメンバーと議論を重ねました。でも僕たちがやらなければ、全て終わりという意見もあり、開催を決意。祭りの目的は地域に明かりを灯し、活性化すること。やり方はWEBとか、いろいろあると思うんです。限られた範囲で、できることを考えて祭りを、そして地域を少しでも盛り上げたいですね。

ニーズに合わせた活動支援

市民団体の活動サポートをしています。コロナの影響で、皆さんの状況を把握するのは難しく、私たちも何をすればいいかわからない状態でした。そこで状況やニーズを把握するため、アンケートを実施。その結果と問い合わせ内容などをヒントに、まずはWEB会議のセミナーを実施することにしました。団体さんたちの不安をなるべく減らせるよう、助成金情報や他団体の活動状況などを頻繁に発信するようにもしています。今後、団体の活動内容を動画にまとめて紹介することも考えています。日常を取り戻すためには、がんばりすぎないこと。皆さんが1人で悩まず、ゴールや目的に到達できるよう、サポートを続けたいですね。

コロナに負けんよ。勝たないかん

臨時休業やイベント中止。困難を乗り越え、それぞれが大きな1歩を踏み出しています。



飲食
(株)つじ丸
かずや
曽我部数也さん

周りの応援が自分や会社の支えに

今までにない空いた店内と売り上げ。店や従業員を守るため、多くの支援策を活用し、特にテイクアウトに力を入れました。企業などへの呼び掛けや広告宣伝など、早めに対策したおかげで、多くの方が利用してくれ、さらにSNSで拡散もしてくれました。反響も大きく、新しいお客さんも増えたと思います。

個人としては生活のためにも、資格を取り、別の仕事を掛け持ちするなど、大変な時期もありました。でもこんな期間を支えてくれたのは、常連客や同業者など。「がんばれよ」とか、励ましの言葉にはすごく助けられましたね。改めて、周りの支えがあって活動できていることを実感しました。



農業
(株)PENTA FARM
まさし
山内政志さん

農作物でみんなに笑顔を届ける

農業生産や販売などを行う中で特に大変だったのが周ちゃん広場のカフェの経営。不安はありましたが、開店を続けました。手を止めたら、農作物を作ってくれる皆さんが苦しむと思ったんですよね。農家さんあっての僕らですから、テイクアウト商品を増やしたり、感染予防を徹底したりなど工夫しました。あとは「皆さんにおいしい農作物を食べてもらいたい」という気持ちが仕事の支えとなっていました。

限られた出店でしたが、キッチンカーでの移動販売も行い、同業者同士みんなでがんばろうと、より一層絆が深まったような気がします。こういう時だからこそ、地域や人の連携はすごく大切だと感じましたね。

特集 「今」を乗り越える

緊急事態宣言が解除され、学校再開など少しずつ日常が戻ってきました。

でもマスクの着用や外出自粛など、私たちの生活にまだまだ制限はあります。

今、私たちにできることは新しい暮らしを受け入れながら前へ進むこと。

進んだ先には、きっと明るい未来が待っています。

助け合い、支え合い 今こそみんなでがんばろう



西条市長
玉井敏久

市民の皆さん、大変なご苦労やご不便のある中ウイルス感染予防にご協力いただきありがとうございます。

当市では、これまでに特別定額給付金や子育て世帯への臨時給付金をはじめとする緊急経済対策を円滑に進めてきたほか、支援策などをまとめたチラシの全戸配布、事業者支援としてさまざまな事業を新設するなど、感染症対策や市民生活の維持に努めてまいりました。6月の補正予算では、コロナ対策第2弾として、緊急性の高い事業（総額10億9,156万円）を補正措置しました。できる

だけ多くの方に支援を届けたいという思いから、新たな取り組みとして、小規模事業者・農林水産事業者や子育て世代を支援する給付金支給などを行うこととしています。

これまで地域の方々からマスクの寄贈など、たくさんのあたたかいご支援をいただきました。改めて「助け合う」「支え合う」ことの大切さを実感しているところであります。見えない敵、ウイルスとの戦いはまだまだ続くかもしれません。「がんばろう西条！」を合言葉に、皆さんで手を取り合って、この苦難を乗り越えましょう！

子育て世代応援給付金を支給 1億3,757万円

小中学校の臨時休業や保育所などの登園自粛などにより、さまざまな負担がかかっている子育て世代の経済的負担を軽減するため、対象児童1人当たり1万円を支給。

- ▶支給対象
令和2年5月31日現在、市内在住の中学生3年生までの児童
- ▶支給額 児童1人当たり1万円
※申請は不要です。
- ▶支給時期 7月17日(金)
※6月15日から、該当者へ案内書を郵送しています。
- ▶問合せ
市庁舎本館1階子育て支援課 Tel.0897-52-1370



市独自支援や感染予防対策

新型コロナウイルス感染症対策の第2弾として、給付金を支給するほか、感染予防対策など緊急性の高い事業の予算を追加しました。

頑張ろう！小規模事業者・農林水産事業者応援給付金を支給 8億6,835万円

感染症拡大の影響により経営に悪影響が出ている中、事業継続に懸命に取り組む小規模事業者および農林水産事業者に対して、応援給付金10万円を支給。



対象事業者へ
10万円給付します！

申請期限は
8月31日(月)まで

頑張ろうの思いを
込めた当市独自施策

- ▶対象
次の全てに該当する方
○小規模事業者または農林水産事業者 ※1
医療法人、農業法人、NPO法人なども含む。小規模事業者とは常時使用する従業員が20人以下の事業者。ただし宿泊・娯楽業を除いた商業・サービス業では5人以下（パート・アルバイトは除く）。
○2020年1月1日以降、引き続き市内に
・住所と事業所のある個人事業主
・本社もしくは事業所のある法人
○2019年の確定申告または住民税を申告済みの方
○2019年以前から事業収入があり、今後も市内で事業を継続する意志がある方
○2019年または2019年度の事業収入（売り上げ）が120万円以上の方
○2020年1月～7月までの間、1カ月の売り上げが前年同月比20%以上減少している方（ただし、対象月の前年同月の事業収入が不明な場合などは、前年の月平均と比較）
○2019年度中に納期を迎えた市税の滞納がない方
※新たに創業、合併、法人化、事業継承した場合も対象となることがあります。詳しくは市ホームページなどでご確認ください。

必要書類	
個人事業主	法人
① 「申請書兼請求書」、「別紙」、「宣誓書兼委任状」	
② 青色申告の方：2019年確定申告書、所得税青色申告決算書 白色申告の方：2019年確定申告書	2019年度の確定申告書、法人事業概況説明書
③ 2020年1月～7月の月別事業収入が分かるもの	
④ 従業員数を確認できるもの	
⑤ 本人名義の口座通帳の写し	法人名義の口座通帳の写し
⑥ 本人確認書類	—

①の書類は市ホームページでダウンロードするか、窓口（西条市地域創生センター、市役所産業振興課・農水振興課、各総合支所総務課・農林水産課）でも受け取れます。

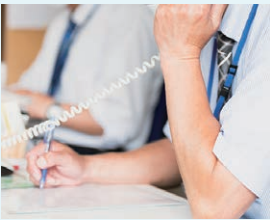
- ▶提出方法 必要書類①～⑥をそろえ以下へ郵送。
- ▶提出期限 8月31日(月) (当日消印有効)
- ▶提出先・問合せ (8時30分～17時15分 土・日曜日、祝日除く)
〒793-0003 西条市ひうち1-16
新型コロナ経済対策支援室
応援給付金担当
(西条市地域創生センター内)
Tel.0897-52-5157



※1 国・公共法人、性風俗関連特殊営業および同営業に係る接客業務受託営業、政治団体、宗教団体、暴力団・暴力団の構成員等、公務員一般職などは除く

緊急雇用対策 1,960万円

雇用情勢の悪化を踏まえ、緊急雇用対策として企業からの内定取り消しや解雇などの影響を受けた方を、当市の会計年度任用職員として雇用。



テレワーク・WEB会議システム導入 2,658万円

自宅や出張先での業務のためテレワーク、会議や窓口サービス向上のためWEB会議システムを導入。



園児・児童・生徒等感染予防対策 3,732万円

小中学校や市立保育所・幼稚園などに、マスクや非接触型体温計、空間除菌機器などの衛生管理用品を購入。私立保育所などの感染防止用品購入経費の助成。



救急活動感染予防対策 215万円

救急活動時などに使用するマスク、フェイスシールド、消毒液などの不足分を追加購入し、感染防護服や高機能マスクなどの感染症対策専用資器材を購入。感染症患者の救急搬送時におけるウイルスの拡散を防ぐため、救急自動車に積載する搬送用アイソレーター装置を新規配備。

新型コロナウイルス感染症に関する情報
(市ホームページ)



西条市 コロナ



8月18日(火)が期限です！

10万円（特別定額給付金）の申請をお忘れなく！

- ※期限までに申請がない場合、給付金を受け取ることができません。
- ▶問合せ
市庁舎本館2階 新型コロナ経済対策支援室
Tel.0897-52-1367